

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分  
 【発行日】平成20年10月9日(2008.10.9)

【公開番号】特開2007-146791(P2007-146791A)  
 【公開日】平成19年6月14日(2007.6.14)  
 【年通号数】公開・登録公報2007-022  
 【出願番号】特願2005-344937(P2005-344937)  
 【国際特許分類】

F 0 2 M 9/06 (2006.01)

F 0 2 M 19/04 (2006.01)

【 F I 】

F 0 2 M 9/06 L

F 0 2 M 19/04 C

F 0 2 M 19/04 B

【手続補正書】  
 【提出日】平成20年8月27日(2008.8.27)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

気化器本体に設けられた吸気通路の絞りを調節するためのベンチュリーピストンを備え、このベンチュリーピストンにキャップ部材を螺合することにより、ジェットニードルを一体に取り付ける可変絞り形式の気化器において、

前記ジェットニードル後端部に設けた鏝部と、前記キャップ部材を貫通する孔部と、前記孔部に設けられ、前記鏝部が前記孔部を通過不能に形成された段部とを備え、前記キャップ部材を取り外した際に前記ジェットニードルと一体に係合する抜け止め手段を備えたことを特徴とする気化器。

【請求項 2】

前記抜け止め手段は、前記ジェットニードル後端部または前記キャップ部材のどちらか一方に設けた膨出部と、他方に設けた前記膨出部と係合する弾性変形により前記膨出部が通過可能な入口部を設けた孔部と、を備えたことを特徴とする請求項 1 記載の気化器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 0 5  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【 0 0 0 5 】

本発明では、気化器本体に設けられた吸気通路の絞りを調節するためのベンチュリーピストンを備え、このベンチュリーピストンにキャップ部材を螺合することにより、ジェットニードルを一体に取り付ける可変絞り形式の気化器において、前記ジェットニードル後端部に設けた鏝部と、前記キャップ部材を貫通する孔部と、前記孔部に設けられ、前記鏝部が前記孔部を通過不能に形成された段部とを備え、前記キャップ部材を取り外した際に前記ジェットニードルと一体に係合する抜け止め手段を備えたことを特徴とする。

この構成によれば、仮にキャップ部材がベンチュリーピストンから外れた場合であっても、キャップ部材がジェットニードルと抜け止め手段によって係合して、キャップ部材が

ベンチュリーピストンから単体で外れないようにすることができる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】